



大内21世紀の21年

大内の今

大内まちづくり協議会

大内21世紀の21年

おおうちいま

大内まちづくり協議会

大内21世紀の21年

大内の今

令和五年（二〇二三年）三月一〇日

編集

大内まちづくり協議会地域振興部会

発行

「大内の今」編集委員会

発行

大内まちづくり協議会

（大内地域交流センター内）

印刷・製本

コロー印刷

（不許複製）

目 次

ページ

・ 目次 ・ はじめに	1
・ 平成11年～15年 大内青年団「じげもん」が「どろんこずもう大内場所」等を開催	2
・ 平成16年～18年 一市四町の合併により、新「山口市」が誕生	4
・ 平成19年～22年 「地域交流センター」を拠点とした協働によるまちづくりが始まる	6
・ 平成23年～25年 東日本大震災を契機に、災害に強いまちづくりが進行中	8
・ 平成26年～28年 大内・小鯖協育ネットが発足し、地域の小中学生が『あたりまえ10箇条』を策定	10
・ 平成29年 第2期大内まちづくり計画の下、交通安全教室やコードモジカン事業等を展開	12
・ 平成30年～31年 農業試験場移転へ 大内地域の未来を考える機運が高まる	14
・ 令和元年～2年 時代は平成から令和へ 新型コロナウイルス感染拡大とともに生活が一変	16
・ 令和3年～4年 ウイズコロナ 新しい生活様式がスタート！	18
・ 大内地域の文化財	20
・ 大内ふるさとカレンダーの写真から	22
・ 大内地域の小中学校の歩み	24
・ 大内地域の人口の推移と推計	26
・ 大内地域の経営耕地面積と総農家数の経年変化	27
・ 大内地域全体の航空写真	28

はじめに

本冊子は、大内まちづくり協議会
地域振興部会のアーカイブス構築事
業の一環として作成したものです。
平成十一年に「大内公民館五十年
史」を作っていますが、それ以降の
大内地域の歩みに関する記録が少な
いという課題に対して、災害の記録
だけでなく、地域の生活史的な記録
をできるだけ映像（写真等）で残そ
うと心がけて作成しました。

平成から令和へと時代が流れてい
く中で、大内地域がどのように変
わっているのかを知る一助になれば
幸いです。

編集委員

石村 誠・入江 幸江
岡本 公一・古賀 信幸
近藤 義則・古谷眞之助
山縣 昂亮・山田 一夫
(※五十音順)



大内青年団「じげもん」が「どろんこずもう大内場所」等を開催



休耕田を利用して開催された「どろんこずもう大内場所」

平成十一年は、男女共同参画社会基本法が成立し、女性の社会進出が進むきっかけとなった年でした。

平成十二年には、プロ野球オリックスブルーウェーブのイチロー選手がメジャーに挑戦するなど、日本人プレイヤーの海外進出が本格化しました。

平成十三年七月十四日から九月三十日までの七十九日間、阿知須町(当時)きら浜を会場に「二十一世紀未来博覧会(山口きらら博)」が開催され、二百五十万人を超える来場者で賑わいました。

平成十四年には、日韓共同でサッカーワールドカップが開催されました。また、小柴昌俊東京大学名誉教授がノーベル物理学賞を、田中耕一島津製作所社員がノーベル化学賞をそれぞれ受賞しました。

平成十五年には、大相撲の第65代横綱貴乃花が引退するといった出来事がありました。

大内地域のできごと

平成十一年

- ◇ 大内青年団「じげもん」が「どろんこずもう大内場所」や大内幼稚園で「豆まき」を実施

- ◇ 大内小学校の鉄筋2階建て新校舎が竣工

- ◇ 大内小学校が、NHK全国学校音楽コンクール県大会で金賞を受賞

- ◇ 大内小学校が、山口市花いっぱい運動モデル賞を受賞

平成十二年

- ◇ 大内中学校体育館が竣工

平成十三年

- ◇ あすなろ会が、山口市交通安全対策協議会表彰を受ける。

平成十四年

- ◇ 大内南小学校で、開校十周年記念事業が開催される。

- ◇ 大内小学校PTAホームページが開設される。

平成十五年

- ◇ 大内小学校ホームページが開設
- ◇ 「大内ふれあい市」が始まる。



節分の豆まき（大内幼稚園）



山口きらら博（山口市提供）



大内中学校体育館竣工（令和4年撮影）

末

平成11年(1999)

- 欧州連合（EU）に加盟する11カ国で単一通貨「ユーロ」を導入
- NTTドコモのiモードサービスがスタート
- 松坂大輔投手が日本ハム戦でプロ野球、初登板、初勝利
- 作家の石原慎太郎氏が東京都知事選挙で初当選
- ノストラダムスの予言と世紀末ブーム
- 大阪府知事の横山ノック氏辞職

金

平成12年(2000)

- Microsoft Windows 2000が日米欧で同時発売
- ◎山口母親殺害事件：山口県山口市で少年（当時16歳）が母親を金属バットで撲殺
- オーストラリアのシドニーオリンピック女子マラソンで高橋尚子選手がオリンピック最高記録で金メダルを獲得
- 三宅島山頂で大規模な噴火が起こり、全島民が島から避難

戦

平成13年(2001)

- ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）が大阪市に開業
- 附属池田小事件発生
- アメリカ軍によるアフガニスタン侵攻が開始
- しし座流星群がピーク
- えひめ丸事故発生
- ドメスティックバイオレンス（DV）法が公布・施行
- アメリカ同時多発テロ発生
- 明石花火大会歩道橋事故
- 愛子様（敬宮愛子内親王）のご誕生

帰

平成14年(2002)

- アメリカ合衆国のソルトレイクシティでオリンピック開幕
- ◎合志栄一氏が山口市長に就任
- 2002 FIFA ワールドカップが日本・韓国で共同開催
- 住民基本台帳ネットワーク開始
- 小柴昌俊東京大学名誉教授にノーベル物理学賞
- 北朝鮮に拉致されていた被害者5人が24年ぶりに帰国

虎

平成15年(2003)

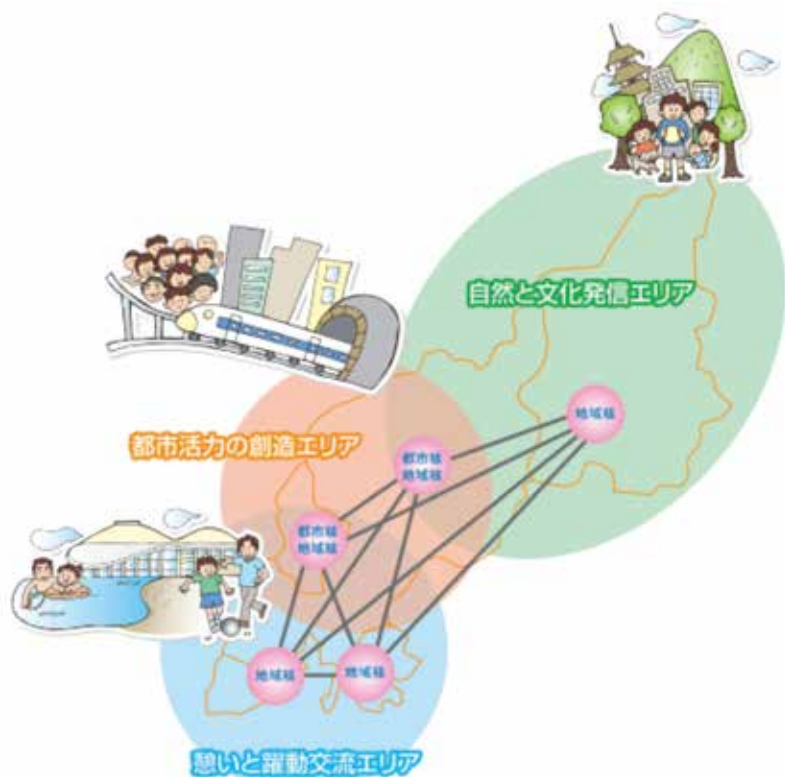
- 北朝鮮が2度目の核拡散防止条約（NPT）脱退を宣言
- スペースシャトル・コロンビア号空中分解事故
- 郵政事業庁が廃止、日本郵政公社に再編
- 最後の日本産トキ「キン」が死亡
- 地上波デジタル放送、三大都市圏で放送開始
- 大相撲、モンゴル出身の横綱朝青龍が誕生

※年表の右上の漢字は、その年の今年の漢字を
年表の◎は、山口県関連の内容を表す

一市四町の合併により、新「山口市」が誕生



新「山口市」の幕開けを祝うくす玉割り（山口市提供）



「新県都のまちづくり計画」から抜粋



平成 18 年に竣工した大内小学校体育館（令和 4 年撮影）



第 21 回国民文化祭・やまぐち 2006「やまぐち発 心ときめく文化維新」（山口市提供）



平成十六年に開催されたアテネオリンピックでは、北島康介選手が水泳で金メダルを獲得し、レース後のインタビューで言い放った「チョー気持ちいい」がこの年の流行語大賞となりました。

この年は、阿東町（当時）の養鶏場から、日本国内では七十九年ぶりとなる鳥インフルエンザの発生も確認されました。

またこの頃、全国では市町村合併が相次ぎ、それまで三千近くあった全国の市町村は、平成十八年には千八百程となりました。山口県内では、平成十四年に四十九あった市町村は、平成二十二年には十九市町となり、現在（令和四年）に至っています。

この平成の大合併の流れの中、平成十七年十月には、旧山口市と小郡町、秋穂町、阿知須町、徳地町の一市四町が合併し、新しい「山口市」が誕生しました。

平成十八年十一月三日から十二日までの十日間、「やまぐち発 心ときめく文化維新」をテーマに「第二十一回国民文化祭・山口2006」が県内各地で開催され、期間中は県内外から百四十五万人を超える来場者で賑わいました。

平成十八年は、日本の高齢人口率（六十五歳以上）が過去最高、同時に年少人口率（十五歳以下）が過去最低となった年でもありました。

大内地域のゆかり

平成十六年

- ◇ 大内小学校が全国教育美術展教育委員会賞を受賞

平成十七年

- ◇ 国勢調査時の大内地域の人口が二万人を超え、7,905世帯、21,494人となる。

平成十八年

- ◇ 興隆寺蔵の剣宝剣拵（ほうけんこしらえ）が、県指定有形文化財（美術工芸品）となる。
- ◇ 第21回国民文化祭が開催される。
- ◇ 大内小学校現体育館が竣工

出来事年表

平成16年(2004)

災

- ◎山口県阿東町の養鶏場で日本国内では 79 年ぶりとなる鳥インフルエンザの発生が確認される。
- プロ野球再編成問題が発生
- ギリシャのアテネオリンピックで水泳の北島康介選手が金メダルを獲得
- 自衛隊イラク派遣開始
- メジャーリーグ（MLB）でマリナーズのイチロー選手がシーズン最多安打記録を 84 年ぶりに更新
- 新潟県中越地震が発生し、震度 6 を 4 回記録

平成17年(2005)

愛

- 京都議定書発効
- JR 福知山線で脱線事故が起こる。107 人死亡、441 人が重軽傷
- 個人情報保護法が全面施行される。
- 衆議院の「郵政解散」と小泉劇場
- 郵政民営化関連法案が成立
- ◎渡辺純忠氏が新山口市長に就任
- 愛知万博「愛・地球博」開催

平成18年(2006)

命

- ◎「移動市長室」が開催される。
- 日本郵政株式会社が発足
- イタリアのトリノオリンピック女子フィギュアスケートで、荒川静香選手が金メダル獲得
- 臨時国会を召集し、首相指名選挙で自由民主党総裁の安倍晋三氏が第 90 代内閣総理大臣に就任
- ◎姉妹都市スペインパンプローナ市の訪問団が来山
- 「ワンセグ」サービス開始

「地域交流センター」を拠点とした 協働によるまちづくりが始まる



平成 21 年 7 月 21 日に発生した豪雨は、大内地域にも甚大な被害をもたらしました。



大内地域交流センター



拡張された大内地域交流センター の駐車場（令和 4 年撮影）

平成十九年の夏の甲子園を制したのは早稲田実業高校でした。同校のエース斎藤佑樹選手は、ピッチングの合間にハンカチで汗を拭う仕草が話題となり、「ハンカチ王子」と呼ばれるようになりました。

平成二十年は、リーマンショックが表面化したほか、第四十四代アメリカ合衆国大統領にバラク・オバマ氏（民主党）が当選しました。

平成二十一年には、「山口市協働によるまちづくり条例」が施行され、それまでの公民館は「地域交流センター」へと様変わりしました。大内地域でもまちづくりの主体となる「大内まちづくり協議会」が組織され、市内の二十一地域では、それぞれの個性を生かした、協働によるまちづくりが始まりました。

また、七月二十一日、山口県中部は記録的な豪雨に見舞われ、大内地域でも浸水被害が発生し、多くの方が大内南小学校体育館での避難所生活を余儀なくされる事態となりました。

平成二十二年にはバンクーバーで冬季オリンピックが開催されました。浅田真央選手（フィギアスケート）や小平奈緒選手（スピードスケート）が銀メダルを獲得しました。また、山口市は、阿東町（当時）と合併しました。

大内地域のできごと

平成十九年

◇ 二月に、大内っ子まもり隊の会が発足

平成二十年

◇ 大内っ子まもり隊の会が、文部科学大臣表彰（奨励賞）を受ける。

◇ 管内の芝居幕（しばいまく）、興隆寺蔵の木造獅子頭（もくぞうし）がしら、木造舞楽面（もくぞうぶがくめん）、木造龍頭（もくぞうりゅうず）が、市指定文化財となる。

平成二十一年

◇ 大内まちづくり協議会の発足

◇ 山口市大内地区民生委員児童委員協議会が、全国民生委員児童委員連合会から表彰を受ける。

◇ 大内地域交流センターの駐車場が拡張される。

◇ 七月二十一日、豪雨により、床上浸水百三十戸、床下浸水三百十六戸等の被害が発生

平成二十二年

◇ 大内地域反射鏡設置等補助金事業スタート

◇ 大内地域法定外公共物等整備事業補助金スタート

出来事年表

平成21年(2009)

新

- バラク・オバマ（民主党）候補が、第 44 代アメリカ合衆国大統領に当選
- 北朝鮮が咸鏡北道舞水端里より日本・東北地方の太平洋上に向けて、ミサイル発射実験を実施
- ◎山口市協働のまちづくり条例を施行
- ◎市菜香亭開館 5 周年記念式典開催
- ◎渡辺純忠市長再選
- ◎山口ゆらめき回廊を開催

平成19年(2007)

偽

- 防衛庁が昇格し、防衛省発足
- 千島列島東方の千島海溝付近で、マグニチュード（M）8.2 と推定される大地震発生
- 宮崎県知事選挙で元タレントの東国原英夫氏が初当選
- 長崎市長射殺事件が発生
- 島根県の石見銀山が「世界遺産」に認定。日本では 14 件目
- ◎第 1 回山口市協働のまちづくり市民会議を開催

平成22年(2010)

暑

- ◎山口市が阿東町と合併、阿東総合支所開所
- ◎やまぐちサッカー交流広場オープン
- ◎嘉村磯多生家「帰郷庵」オープン
- 阪神・金本知恵選手の連続フルイニング出場記録がギネス世界記録に認定
- 金星探査機「あかつき」打ち上げ
- ◎7 月に県西部を中心に局地的な集中豪雨で J R 美祢線鉄橋が流出
- ◎スペインパンプローナ市へ山口市から訪問団が訪問
- ◎国勢調査実施

平成20年(2008)

変

- メタボリックシンドローム予防を目的とする「特定健診・特定保健指導」を義務化・開始
- ◎姉妹都市締結 15 周年を記念し、韓国公州市の訪問団が来山
- O 系新幹線が山陽新幹線から引退
- 北海道洞爺湖町で第 34 回主要国首脳会議（サミット「G8」）開催
- 大阪府知事に橋下徹氏が当選
- ◎山口情報芸術センター開館 5 周年記念式典開催

東日本大震災を契機に、

災害に強いまちづくりが進行中



平成 23 年 大内の集い（第 33 回大内まつり）で、山口国体炬火イベント



大内の集い（第 33 回大内まつり）はしご車体験



第 34 回大内まつり 起震車体験



入場行進を団結力コンテストとして実施



自主防災会主 催で行った防災訓練

平成二十三年三月十一日、福島県を襲ったマグニチュード9の大地震は、巨大な津波被害をもたらしました。また、福島第二原発が爆発事故を起こし、放射能汚染が深刻な事態となりました。

この災害を契機として、全国各地では「災害に強いまちづくり」の機運が高まり、自主防災組織が立ち上がりました。

大内地域でも平成二十四年に、茅野神田、宮島町、問田、氷上の四地区が、さらに平成二十五年に高芝地区、平成二十六年に下矢田、小野地区、平成二十七年に中矢田地区、平成三十年に新矢田地区、そして令和三年に菅内団地地区が自主防災組織を立ち上げ、自主的に防災活動に取り組まれています。

大内地域のどきどき

平成二十三年

◇ 河川環境美化活動助成金事業スタート

◇ 大内小学校が、第78回全国学校音楽コンクール（東京渋谷NHKホール）に出場

◇ 大内あすなろ会が厚生労働大臣表彰（感謝状）を受ける。

◇ 二義少年三百年祭記念事業で冊子「清介、角左衛門を偲ぶ」を作成

平成二十四年

◇ 大内小学校の校舎耐震改修工事が完了

平成二十五年

◇ 大内史跡マップが完成

◇ 大内まちづくり協議会のホームページ開設

◇ 地域自慢コンテストとして、体育祭で団結力コンテストを実施

◇ 大内中の新校舎が完成

◇ 大内小学校創立百四十周年記念として、大内小フェスタを開催

◇ 山王社植樹四周年記念交流イベント開催

◇ 萩往還ウォーク in 大内を開催

◇ 金成山登山道整備作業が行われる。

◇ 多門寺跡のシダレ桜花見登山を実施

出来事年表

平成23年(2011)

絆

- 3月11日午後2時46分頃、東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）が発生
- FIFA 女子ワールドカップドイツ大会で、日本代表なでしこジャパンが初優勝
- アナログ放送終了、地上デジタル放送へ完全移行
- ◎第66回国民体育大会「おいでませ！山口国体」が開催
- ◎「ロハス島地温泉」がオープン

平成24年(2012)

金

- 復興庁が発足し、福島復興再生特別措置法が成立
- 東京スカイツリー開業
- 安倍晋三氏が日本の内閣総理大臣に再就任
- ◎第63回全国植樹祭が阿知須きらら浜で開催
- ◎卓球・石川佳純選手が山口市民栄誉賞を受賞
- ◎小田桃花選手がリードワールドカップで日本人女性初の優勝

平成25年(2013)

輪

- 東京ドームにて、長嶋茂雄氏と松井秀喜氏が国民栄誉賞を受賞
- 富士山が世界文化遺産に登録
- ◎周南市金峰の郷地区で、放火殺人事件発生
- ◎阿東地域を中心に豪雨災害が発生
- ◎日本ジャンボリー・アジア太平洋地域スカウトジャンボリーが阿知須地域で開催

大内・小鯖協育ネットが発足し、

地域の小中学生が『あたりまえ10箇条』を策定

平成二十六年には、大内小・大内南小・小鯖小・大内中・大内幼稚園・大内保育園・小鯖幼稚園保育園の四校、三園で、大内・小鯖協育ネット協議会を立ち上げ、小中学生が案を出して、『あたりまえ10箇条』を策定し、九月にその看板設置の除幕式を行いました。



平成二十六年から二十八年の間、山口県内は平成三十年の明治維新百五十周年に向けた機運が高まった期間となりました。

平成二十七年にはNHK大河ドラマ「花燃ゆ」が放映されたほか、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が、世界遺産に登録されました。

また、同年に開催されたラグビーワールドカップでは、一次予選で日本代表が強豪南アフリカに劇的な逆転勝利を収めました。

平成二十八年には、熊本を大地震が襲い、熊本城の一部が倒壊するといった災害も発生しました。

大内地域のいけいけ

平成二十六年

- ◇ 大内矢田地区の住居表示を実施
(矢田北一丁目～六丁目、矢田南一丁目～八丁目)

- ◇ 大内中学校で「あたりまえ10箇条」の看板を設置

- ◇ プロフェッショナルと語る朝食会が始まる。

平成二十七年

- ◇ 大内氷上地区の住居表示を実施
(氷上一丁目～七丁目)

- ◇ 若葉会(宮島町町内会老人クラブ)が優れた「道路愛護団体」として県知事表彰を受ける。

- ◇ 旧氷上橋の親柱が氷上橋歩道橋の建設工事中に川底から発見され、氷上橋とともに設置。

平成二十八年

- ◇ 大内問田地区の住居表示を実施
(問田一丁目～五丁目・小京都・姫山台)

- ◇ 「第2期大内まちづくり計画」を策定する。

- ◇ 大内コドモジカン事業が始まり、氷上、小野、問田の3地区で実施

- ◇ 大内地区里山河川ふれあい事業補助金制度が始まる。

- ◇ 市道上矢田御堀線の氷上橋歩道橋が完成

出来事年表

平成26年(2014)

税

- ロシアのソチオリンピックで、羽生結弦選手が金メダルを獲得
- 消費税が5%から8%に増税
- 御嶽山が7年ぶりに噴火し 50人以上が死亡
- ノーベル物理学賞受賞者に赤崎勇氏・天野浩氏・中村修二氏の3人が決定
- ◎山本繁太郎山口県知事が辞職
- ◎山口県知事選挙で、元総務(自治)省官僚の村岡嗣政氏が初当選
- ◎大内御堀在住の堀田とミをさん(108歳)が山口市内最高齢となる。



氷上地区で竹とんぼづくり



小野地区でけん玉体験



問田地区で本立てづくり



朝の時間(7:00～8:00)を有効に活用して、その道のプロの方の生き様から知識や技術を学び交流の輪を広げようと、「プロフェッショナルと語る朝食会」がスタートしました。第1回の講師は、レノファ山口FC U-18監督の中山元氣氏を招いての朝食会で、「こー一番で力を発揮できる心と体の鍛え方」について学びました。



世界のスカウトたちが大内地域交流センターで交流

平成27年(2015)

安

- NHK大河ドラマ「花燃ゆ」放送開始
- 大相撲・横綱白鵬が史上最多 33 回目の幕内最多優勝を決める。
- ◎世界スカウト機構主催の第23回世界スカウトジャンボリーが山口市阿知須・きらら浜で開催
- ◎井上馨 没後 100 年記念講演会「井上馨 ～傷だらけの青春～」が大内地域交流センターで開催される。
- 国勢調査実施

平成28年(2016)

金

- 熊本地震起こる。
- 第44代アメリカ合衆国大統領バラク・オバマ氏が広島訪問
- ブラジルのリオデジャネイロで、第31回夏季オリンピックが開催
- 男性アイドルグループ・SMAP が解散
- ◎安倍晋三首相とロシアのプーチン大統領が、山口県長門市で日露首脳会談を開催

第2期大内まちづくり計画の下、 交通安全教室やコードモジカン事業等を展開



くつきりナイトスクール



交通安全教室（くつきりナイトスクール）



金成団地地区でそうめん流し



小野地区で魚釣り体験



小京都地区でパソコン教室



中村地区でもちつきと学習会



氷上地区で学習会



御堀地区で座禅体験

平成29年度は、6地区で
大内コードモジカン事業を実施

平成二十九年は、ドナルド・トランプ氏がアメリカ合衆国大統領選挙を制し、第四十五代大統領に就任。「アメリカファースト」を掲げた施策を展開し、日米関係も新たな時代へと突入しました。

山口市では、山口情報芸術センター（YCAC）の入館者数が一万人に到達し、その横に、スターバックスコーヒー山口市中央公園店がオープンしました。

また、「全国SLサミット in やまぐち」の開催、『幕末維新がわかる本 山口市版』が発売、続 日本100名城に「大内氏館」と「高嶺城」が選定されるなどしました。

大内地域のぎやう

平成二十九年

- ◇ 大内千坊地区の住居表示を実施（千坊一丁目～六丁目・中央一丁目～二丁目）
- ◇ 高齢者の事故が多発したことで、まちづくり協議会安心安全部会が、交通安全教室（くつきりナイトスクール）を開催する。
- ◇ 平成二十八年度にスタートした大内コードモジカン事業では、6地区で体験活動が実施される。
- ◇ 大内地区民生委員児童委員協議会が、厚生労働大臣表彰を受ける。
- ◇ 大内桜の会が設立され、大内畑にある大内桜の整備活動に取り組む。

出来事年表

平成29年(2017)

北

- ◎山口情報芸術センターの入館者が1000万人に到達
- ◎大浦一般廃棄物最終処分場竣工式開催
- ◎「山口県央連携都市圏域」連携協約締結
- カズオ・イシグロ氏（長崎県出身、1983年よりイギリス国籍）がノーベル文学賞を受賞
- 将棋棋士の羽生善治氏が史上初の永世七冠を達成
- 福岡県北九州市のテーマパーク、スペースワールドが閉園
- ◎九州北部豪雨への災害派遣開始
- ◎吉村真晴・石川佳純両選手の世界卓球「金メダルおめでとう！凱旋市民報告会」を開催
- ◎スターバックスコーヒー山口市中央公園店オープン
- ◎全国SLサミット in やまぐち開催

第2期 大内まちづくり計画（平成二十八年度～令和二年度）

◆キャッチフレーズ

「伸びゆく大内 人の輪 夢の輪 地域の輪」

◆理念

- ① 交流が活発で人が生き生きと活躍する地域
- ② 学びの機会に満ちた伝統と文化の継承される地域
- ③ 健康で幸せを感じながら生活できる地域
- ④ 自然と緑あふれ快適に暮らせる地域
- ⑤ 安心安全に暮らせる地域

農業試験場移転へ

大内地域の未来を考える機運が高まる



移転が決まった山口県農業試験場（令和4年撮影）



山口大学の山本晴彦教授から「平成21年7月の豪雨災害から今後の防災について考える」という演題でお話をいただいた後、パネルディスカッションを行う。

平成三十年は、明治維新百五十周年となる節目の年に当たり、山口市内では、十朋亭維新館がオープンするなど、「明治維新策源地の地」としてのまちづくりが進みました。

また、七月には、犠牲者が二百人を超える豪雨に見舞われ、大災害となりました。

この年、日本一周中の自転車旅行者を装い、大阪府警富田林署から逃走した男が周南市の道の駅ソレーネ周南で逮捕されたり、周防大島町で行方不明の二歳男児が、78歳のボランティア・尾畠春夫氏によって無事に発見されたりと、県内のニュースが全国で話題になりました。

大内地域のどきん

平成三十年

- ◇ 11月23日、大内中の体育館にて、山口大学の山本晴彦教授を招いて、「大内地域の防災を考える会」を開催
- ◇ 大内つ子まもり隊、朝の立哨グループが、「小さな親切運動」山口県本部推進大会において表彰される。
- ◇ 大内まちづくり協議会、大内連合自治会、大内地域社会福祉協議会の三者が、山口県農業試験場の移転についての要望書を市へ提出
- ◇ 緑の募金公募事業で、「子どもたちの未来の森づくり」を実施
- ◇ 大内御堀地区の住居表示を実施（御堀一丁目～六丁目）

平成三十一年

- ◇ 象頭山「気晴らしの丘」に、大内小学校2年生百十人がサツキツツジを植える。
- ◇ 第10回山寺コンサート（二月会再興プロジェクト）が開催される。
- ◇ 山口県内12すべての総合農協が合併して『山口県農業協同組合』が発足し、JA山口県大内支所となる。

出来事年表

平成30年(2018)

災

- ◎西京スタジアムの名称が「山口マツダ西京きずなスタジアム」に決定
- ◎明治維新150年記念薩長同盟 in 鹿児島を開催
- ◎新山口駅北口駅前広場の全面供用を開始
- 韓国・平昌で冬季オリンピック開幕
- 第42回世界遺産委員会で長崎の教会群とキリスト教関連遺産が世界遺産（文化遺産）に登録
- フィギュアスケートの羽生結弦選手が個人としては史上最年少となる23歳で国民栄誉賞を受賞
- ◎山口ゆめ花博が開幕
- テニス・全米オープンで、大坂なおみ選手がセリーナ・ウィリアムズを下し日本人初の4大会での優勝
- 「日本の台所」と親しまれた築地市場が豊洲市場に引き継がれる。
- ◎新山口駅南北自由通路の「垂直の庭」が国土交通大臣賞を受賞

平成31年(～2019.4.30)

- オウム真理教教祖の麻原彰晃（松本智津夫）死刑囚の死刑執行
- ◎中原中也記念館25周年記念セレモニー開催
- ◎やまぐち新進アーティスト大賞10年展開催
- シアトル・マリナーズ（MLB）のイチロー選手が東京ドームでの開幕第2連戦をもって引退
- 第125代明仁天皇が退位（譲位）

時代は平成から令和へ

新型コロナウイルス感染拡大とともに生活が一変

令和元年に中国武漢で発見された未知のウイルス（新型コロナウイルス）は、瞬く間に世界中に拡散。日本も豪華客船（プリンセスダイヤモンド号）からの上陸を皮切りに全国へと広まり、令和二年四月には「緊急事態宣言」が発令され、外出の自粛要請がされるなどしました。

テレビでは「ステイホーム。おうちにいましょう。」のフレーズが繰り返され、世界規模で医療のひっ迫と経済の停滞が発生し、日本経済も深刻なダメージを負いました。

東京オリンピック2020は令和三年に延期されたほか、全国各地の伝統行事等も相次いで中止を余儀なくされました。

政界では、安倍首相が突然辞任し、菅内閣がスタートしました。

大内地域のでかいJAN

令和元年

- ◇ 大内地区子ども会育成連絡協議会が、県子ども会連合会表彰を受ける。
- ◇ 子どもを対象にした防災キャンプを実施する。

令和二年

- ◇ 第四十二回大内まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となる。
- ◇ 山口市交通安全協会大内北分会が、山口市交通安全対策協議会表彰を受ける。
- ◇ 毎月一日と十五日に発行していた「おおうちだより」が、六月から一日号を「大内まちづくり協議会だより（フルカラー）」に、十五日号を「おおうちだより」として発行する。
- ◇ 大雨により、大内地域を流れる仁保川で堤防の一部が決壊する。
- ◇ 大内史跡紹介映像作成委員会を立ち上げる。
- ◇ 大内まちづくり協議会健康福祉部会が、子育て応援マップを作成する。
- ◇ 大内子ども未来プロジェクト事業がスタートする。



令和元年8月10日～11日に大内地域交流センターで、地域ぐるみの防災キャンプを実施。断水状況下で生活や停電状況下での夜間生活を体験するという設定で、給水体験や避難所生活のルールづくり、土のうづくりと運搬体験、救急救命法の実習などの充実した体験活動を行う。



令和2年7月14日の早朝、豪雨により、ゆめタウン裏の仁保川の堰の一部が崩れ、堤防沿いの道路が崩落



令和2年11月29日、大内小と大内南小の児童と大内中の生徒会役員で道路や公園にゴミが散乱しているなどの地域課題について協議

出来事年表

令和元年(2019.5～)

令

- 皇太子徳仁親王殿下が第126代天皇に即位。元号が「令和」に決まる。
- 京都アニメーション放火事件が起こる。
- ゴルフのAIG全英女子オープンで渋野日向子選手が初挑戦で優勝
- ラグビーワールドカップ2019が日本で開幕
- 消費税が8%から10%に引き上げられた。
- 那覇市の首里城で火災が発生し、正殿と北殿、南殿など主要な建物が全焼
- ◎山口文化協会創立50周年記念式典、山口市民文化祭を開催

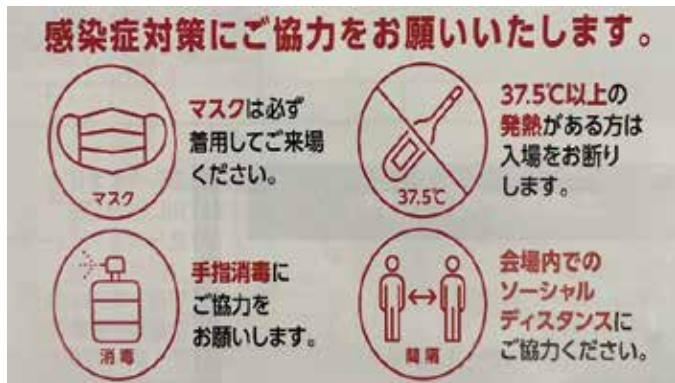
令和2年(2020)

密

- 中国武漢市で発生した新型コロナウイルスの日本国内初患者を確認
- WHOは新型コロナウイルス感染症の正式名称を「COVID-19」とすることを発表
- ◎山口市誕生10周年記念式典を開催
- 新型コロナウイルス感染症にかかる対応で全国一斉臨時休校
- 東京オリンピック2020が、令和3年度開催となる。
- ◎新型コロナウイルス感染症拡大の影響で市内小中学校の夏休みが8/1～16に短縮される。
- 国勢調査実施
- ◎山口市産業交流拠点施設ホールの愛称が「KDDI 維新ホール」に決定

ウィズコロナ

新しい生活様式がスタート！



コロナ禍で、各種の感染症対策を当たり前に行う生活になりました。例えば、会議の前に、自動体温測定器で検温し、マスク着用や手指消毒してから部屋に入る生活や、救急隊は防護服を着用して患者に対応する生活になりました。



令和3年の第42回大内まつりは飲食禁止の半日日程とし、入場の際には記名・検温・手指消毒・マスク着用等を義務付けるなど、コロナ対策を取り組みました。

大内地域のできごと

令和三年

- ◇ 大内地域交流センターのYouTubeチャンネルを開設
- ◇ 大内まちづくり協議会が、大内史跡紹介映像を作成し公開
- ◇ 妙鑑寺位牌堂が国の登録有形文化財となる。
- ◇ 大内畑にある伊勢神社跡の鳥居を三〇年ぶりに修復

- ◇ 二年ぶりの大内まつりは、飲食禁止・半日日程で開催
- ◇ カレンダー作成委員会を立ち上げ、児童生徒が作成した標語と大内の風景写真を合体させた「大内ふるさとカレンダー」づくりに取り組む。

- ◇ 大内小が全国小学校ラジオ体操コンクールで、「ルーキー賞」を受賞

令和四年

- ◇ (株)イズミと大内連合自治会が「ゆめタウン山口屋内駐車場の緊急避難場所としての使用に関する協定」を調印する。
- ◇ 第四十三回大内まつりは、コロナ対策を取りながらも、飲食スペースを設けて開催
- ◇ 「大内桜の会」が、日本さくらの会のさくら功労者表彰を受ける。
- ◇ 第一回おおうち産業フェアを開催



これまで33年間、農業試験場で小学生の田植え体験学習を行っていましたが、農業試験場の移転に伴い、令和3年度からは地域の方の田を借りて、田植えや稲刈りの体験学習を行うことになりました。



台風で倒れた伊勢神社跡(大内畑)の鳥居を30年ぶりに修復



全国小学校ラジオ体操コンクールにおいて、大内小が「ルーキー賞」を受賞



第1回おおうち産業フェアを開催



緊急避難場所における協定調印式

出来事年表

令和3年(2021)

金

- ◎山口市役所窓口においてキャッシュレス決済を導入
- ◎山口ゆめ回廊博覧会を実施
- ◎東京オリンピック2020が開催
- ◎柔道の犬野将平選手と卓球の石川佳純選手に山口市民栄誉賞を贈呈
- 菅内閣から岸田内閣へ
- 大谷翔平選手がメジャーリーグでMVPを獲得

令和4年(2022)

戦

- ◎「徳地やまのいも」が、食べるジャパン美味アワード2022で準グランプリを受賞
- ロシアがウクライナへ侵攻
- ◎入江幸江議員が県内初の女性議長に就任
- 安倍晋三元首相が奈良県での街頭演説中に銃撃され死去
- 英国エリザベス2世女王陛下崩御
- ◎築山跡史跡公園オープン

第3期 大内まちづくり計画（令和三年度～七年度）

◆キャッチフレーズ

元気！笑顔！ともに支え合う大内！

◆理念

- ① 活発な交流でみんなが生き生きと活躍できるまち
- ② とともに学び伝統と文化を継承させるまち
- ③ 健康で幸せを感じながら生活できるまち
- ④ 自然と緑あふれ快適に過ごせるまち
- ⑤ 安心して安全に暮らせるまち

大内地域の文化財

(写真提供 山口市教育委員会)

大内地域には、文化財に関する法律などで指定や登録された文化財が十八件あります。内訳は左の一覧のとおりです。ここでは、二十一世紀に入ってから、新たに指定や登録となった文化財六件(左の一覧青字)を紹介します。

剣宝剣拵 (県指定有形文化財 工芸品)

刀身の長さ六二・八cm、刃の長さ五二・二cmを測る鉄製の剣です。全国的にも類例のない珍しい剣で、形姿から平安時代の制作と推測されます。この剣は大内氏の始祖とされる琳聖太子所用とのいい伝えがあり、江戸時代に藩が編さんした「防長古器考」などにも、図入りで紹介されています。拵(外装)は、大内義隆が殿様だった天文五年(一五三六)に制作されたものです。

菅内の芝居幕 (市指定文化財 有形民俗文化財)

猩々図の幕(写真)が一枚、菊花図の幕が二枚、浪に鳥図の幕が一枚あります。猩々図と菊花図の幕は江戸時代の文化四年(一八〇七)につくられたものです。浪に鳥図の幕は、菅内にある日吉神社の春祭りや観音様の御開帳時に演じた芝居の舞台に掛けて用いました。長さは、猩々図の幕が一二・六m、菊花図の幕は二枚で三・九m、浪に鳥図の幕が四・六mあります。菅内町内会の所有で、市歴史民俗資料館に保管されています。



貴重な資料です。

木造龍頭 (市指定文化財 工芸品)

龍頭は、仏教の儀式で庭などを飾るための幡(旗)をつるすのに使う道具で、竿の先に挿して使用します。いずれも大きさは三〇cm前後です。

檜材で彩色の多くは剥落しています。写真の(1)と(2)は口を開き、

(3)は口を閉じており、(3)には大永三年(一二三三)の墨書があります。

妙鑑寺位牌堂 (登録有形文化財)

妙鑑寺は曹洞宗のお寺です。この位牌堂は火災で焼失した翌年の大正十年(一九二二)に再建されました。桁行(長さ)一七m、梁間五mを測る煉瓦造の細長い平屋の建物です。

屋根は寄棟造の赤色棧瓦葺で、中央に塔屋が載ります。内部は一室で、位牌棚と通路で構成されます。色彩と耐火性を兼ね備えた煉瓦の採用と天窓からの光が静謐な空間をつくり、境内に異彩を放つ建物として貴重です。



大内地域の指定及び登録文化財一覧

	名称	指定種別	所在	指定及び登録年月日
1	梵鐘 (大内義隆寄進)	重要文化財 (工芸品)	大内氷上四丁目 氷上山興隆寺	昭和34年12月18日
2	木造聖観音菩薩立像	県指定有形文化財 (彫刻)	大内氷上四丁目 山根観音堂	昭和41年6月10日
3	大内氷上古墳	県指定史跡	大内御堀	昭和61年4月8日
4	紙本墨画淡彩乗福寺伽藍図	県指定有形文化財 (歴史資料)	大内御堀四丁目 南明山乗福寺 ※山口市歴史民俗資料館へ寄託	平成9年12月12日
5	木造扁額「氷上山」	県指定有形文化財 (歴史資料)	大内氷上四丁目 氷上山興隆寺	平成10年12月4日
6	剣 宝剣拵	県指定有形文化財 (工芸品)	大内氷上四丁目 氷上山興隆寺	平成18年3月31日
7	梵鐘	市指定文化財 (工芸品)	大内問田一丁目 光巖寺	昭和50年8月1日
8	鰐口	市指定文化財 (工芸品)	大内問田一丁目 光巖寺	昭和51年12月21日
9	木造釈迦如来坐像	市指定文化財 (彫刻)	大内氷上四丁目 氷上山興隆寺	昭和51年12月21日
10	乗福寺文書	市指定文化財 (古文書)	大内御堀四丁目 南明山乗福寺 ※山口市歴史民俗資料館へ寄託	昭和57年3月2日
11	厳島神社多宝塔	市指定文化財 (建造物)	宮島町 厳島神社	平成2年6月22日
12	絹本着色両界曼荼羅図	市指定文化財 (絵画)	大内氷上四丁目 氷上山興隆寺	平成10年2月21日
13	菅内の芝居幕	市指定文化財 (有形民俗文化財)	大内御堀 (菅内町内会所有) ※山口市歴史民俗資料館へ寄託	平成20年3月24日
14	木造獅子頭	市指定文化財 (彫刻)	大内氷上四丁目 氷上山興隆寺	平成20年11月28日
15	木造舞楽面	市指定文化財 (彫刻)	大内氷上四丁目 氷上山興隆寺	平成20年11月28日
16	木造龍頭	市指定文化財 (工芸品)	大内氷上四丁目 氷上山興隆寺	平成20年11月28日
17	山口市水道局電気室(旧宮島水源ポンプ室)	登録有形文化財	宮島町 山口市水道局地内	平成10年9月2日
18	妙鑑寺位牌堂	登録有形文化財	大内矢田南八丁目 妙鑑寺境内	令和3年6月24日

木造獅子頭 (市指定文化財 彫刻)

製作年代は不明ですが、大内盛見が殿様だった応永十一年(二四〇四)、応永二十一年(二四一四)の「興隆寺



文書」に「師子(獅子)の記述があることから、この頃には使われていたと考えられます。大きさは、四〇cm前後あります。彩色は全て後世のものです。

木造舞楽面 (市指定文化財 彫刻)



舞楽の「二の舞」に使用するお面(腫面と咲面)で、大きさはいずれも三〇cm前後です。応永十一年(二四〇四)の「興隆寺文書」に「二の舞」の記述があり、この頃のものと考えられます。県下には類例のない

「大内ふるさとカレンダー」
の写真から

秋



仁保川河川敷（下千坊）



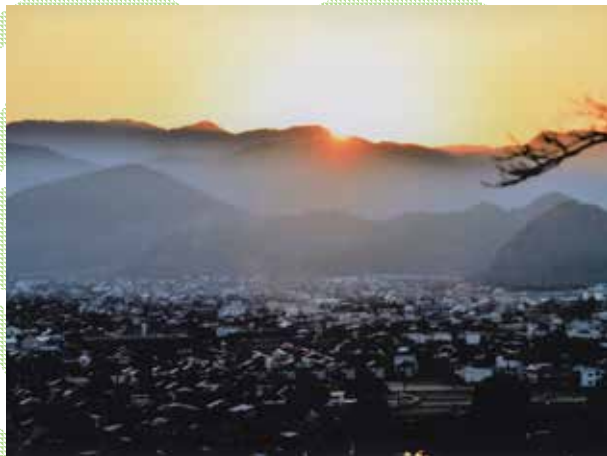
問田川から見たガスタンク（中村）



彼岸花（問田）



乗福寺の紅葉（御堀）



姫山から朝日を拝む（姫山台）



霧の氷上山（氷上）



県道 21 号線（下千坊）



仁保川右岸（御堀）

春



今山多聞寺跡のしだれ桜（問田）



氷上橋上流（氷上）



豆子郎のしだれ桜（御堀）

夏



田植え（小野）



農業試験場（氷上）



大内地域交流センター横のふれあい農園（高芝）

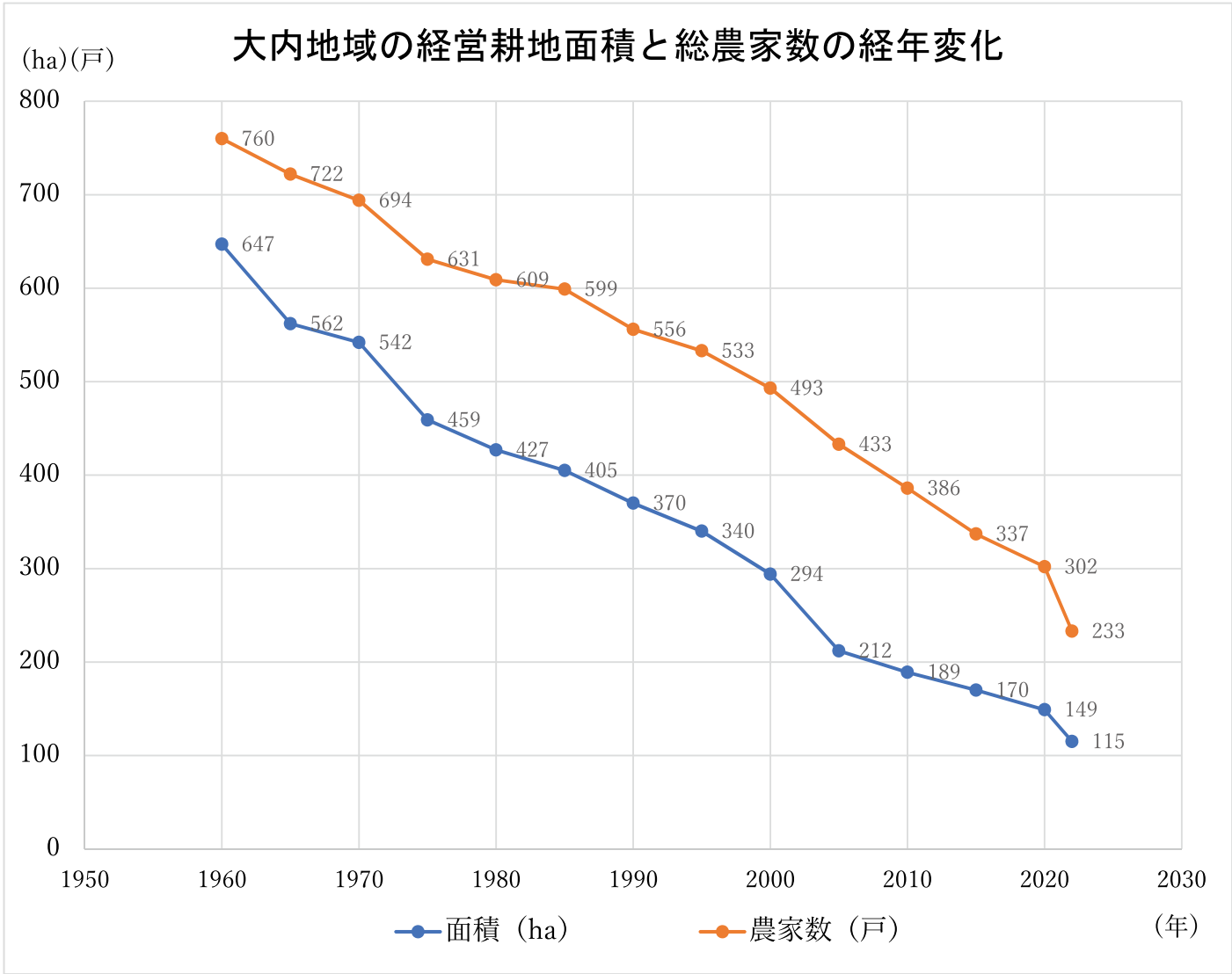


仁保川（千坊北）

冬

大内地域の小中学校の歩み

2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999	年	学校名		
R 4	R 3	R 2	H 31	H 30	H 29	H 28	H 27	H 26	H 25	H 24	H 23	H 22	H 21	H 20	H 19	H 18	H 17	H 16	H 15	H 14	H 13	H 12	H 11				
600	641	668	682	695	702	712	697	695	694	707	707	728	708	698	684	675	680	667	660	656	666	673	663	児童数			
澄川昌男		舩谷 晃			藤村 寿			水上哲彦				小田邦和					竹内芳雄			大野謙吾			岡田紀世子			校長名	
下道一範	齋藤亮二	二宮貴志	田部一則	堀由宇也	溝部博之	河村謙吾	吉井明生	原田 光	岸本剛志	杉田則夫			藤井 徹	松西康成		坂本匡規			溝部広之			柳 博志		PTA 会長名			
・全国小学校ラジオ体操コンクールで「優秀賞」受賞	・全国小学校ラジオ体操コンクール「ルーキー賞」受賞	・教室の空調機器設置 ・コロナの関係で休校	・大内・小鯖協育ネットが文部科学大臣表彰受賞	・プール改修工事完了 ・体育館天井撤去工事完了		・北校舎・給食室改修		・大内・小鯖協育ネット協議会が発足し『あたりまえ10箇条』を策定	・創立140周年記念として大内小フェスタ開催	・NHK全国学校音楽コンクール「優良賞」	・NHK全国学校音楽コンクール「優良賞」	・NHK学校音楽コンクール県大会「金賞」	・留守家庭学級増設に伴い、鉄棒や砂場の移設	・創立135周年記念で、航空写真撮影		・屋内運動場竣工 ・すべり台設置		・第64回全国教育美術展教育委員会賞受賞	・創立130周年記念でPTAホームページ開設	・第1回大内小フェスタ開催	・老朽化のため植木平之允博士寄贈の理科室解体 ・水上分教室開校	・お話しクレヨンによる本の読みかせ開始	・北校舎が竣工 ・NHK学校音楽コンクール県大会「金賞」	沿革			
708	686	697	672	663	693	666	697	708	726	735	742	784	797	772	763	795	801	823	831	855	845	872	861	児童数			
金本正之		小野範雄			温品賢二			田中邦明		岸田カナエ		水上哲彦				糸長三津枝			新谷剣二郎			江口七郎		校長名			
河野貴史		吉村貴三朗		河村靖則			片野 亮						安部成則		中村圭吾		佐伯康男		上田智祥	宮川潤人			太田 聡	PTA 会長名			
・創立30周年記念で航空写真撮影 ・高学年棟4クラス増築		・教室の空調機器設置 ・コロナの関係で休校	・大内・小鯖協育ネットが文部科学大臣表彰受賞	・全日本学校歯科保健優良校受賞	・道徳授業づくりセミナー実施		・大内・小鯖協育ネット協議会が発足し『あたりまえ10箇条』を策定	・中四国小学校体育研究大会山口大会会場校	・創立20周年記念でみなみっ子フェスタ開催	・コミスクに指定	・文部科学省学校安全賞受賞 ・PTA広報紙が県PTA会長賞	・PTA広報紙が県教育長賞	・低学年教室扇風機設置	・PTA広報紙が県教育長賞		・PTA広報紙が県教育長賞		・PTA広報紙が県教育長賞 ・全国小中PTA広報紙コンクールで奨励賞受賞	・PTA広報紙が県教育長賞 ・創立10周年記念行事で大山のぶ代さんの講演会		・図書ボランティア『たんぼの会』発足 ・歯の健康優良校受賞			沿革			
705	668	651	650	726	758	794	766	745	744	725	687	702	738	791	820	848	854	886	886	893	972	932	990	生徒数			
田原暢也		石田大吾		阿部正二郎		原田孝浩				濱本誠治			松永宣男				高橋 徹			小山 登		廣田公司		校長名			
田部一則		杉田則夫		西山宏樹	須子輝雄		岡本秀一	手嶋如水	西村達也		松西康成			中川 孝			宮川潤人		柳 博志	尾村誠一		岡田英治		PTA 会長名			
・技術室横の竹藪を地域の方と一緒に伐採		・新型コロナウイルス感染拡大防止のため休校	・大内・小鯖協育ネットが文部科学大臣表彰受賞		・野球部が中国大会で優勝し全国大会に出場 ・同窓会が創立70周年記念で中庭に時計を設置	・学校環境衛生優良校として県学校薬剤師会から表彰		・大内・小鯖協育ネット協議会が発足し『あたりまえ10箇条』を策定	・新校舎（3年生棟）が完成し供用開始	・コミスク（コミュニケーション）に指定			・開校60周年記念同窓会開催				・1・3年教室に扇風機設置	・2年教室に扇風機設置	・防犯カメラ3箇所設置	・給食調理場が完成	・大内中水上分校が開校	・屋内運動場竣工 ・管理棟（事務室・職員室・図書室等）竣工		沿革			



大内地域の経営耕地面積と総農家数の経年変化のグラフを見ると、どちらも年々減少してきており、21 世紀の 21 年間だけでも、経営耕地面積は約 1 / 3、農家数は約 1 / 2 になっています。グラフの傾きを見ると、過去（1960 年：昭和 35 年）からほぼ同じ割合で減少してきていますが、令和になってさらに急激に減少していることが分かります。

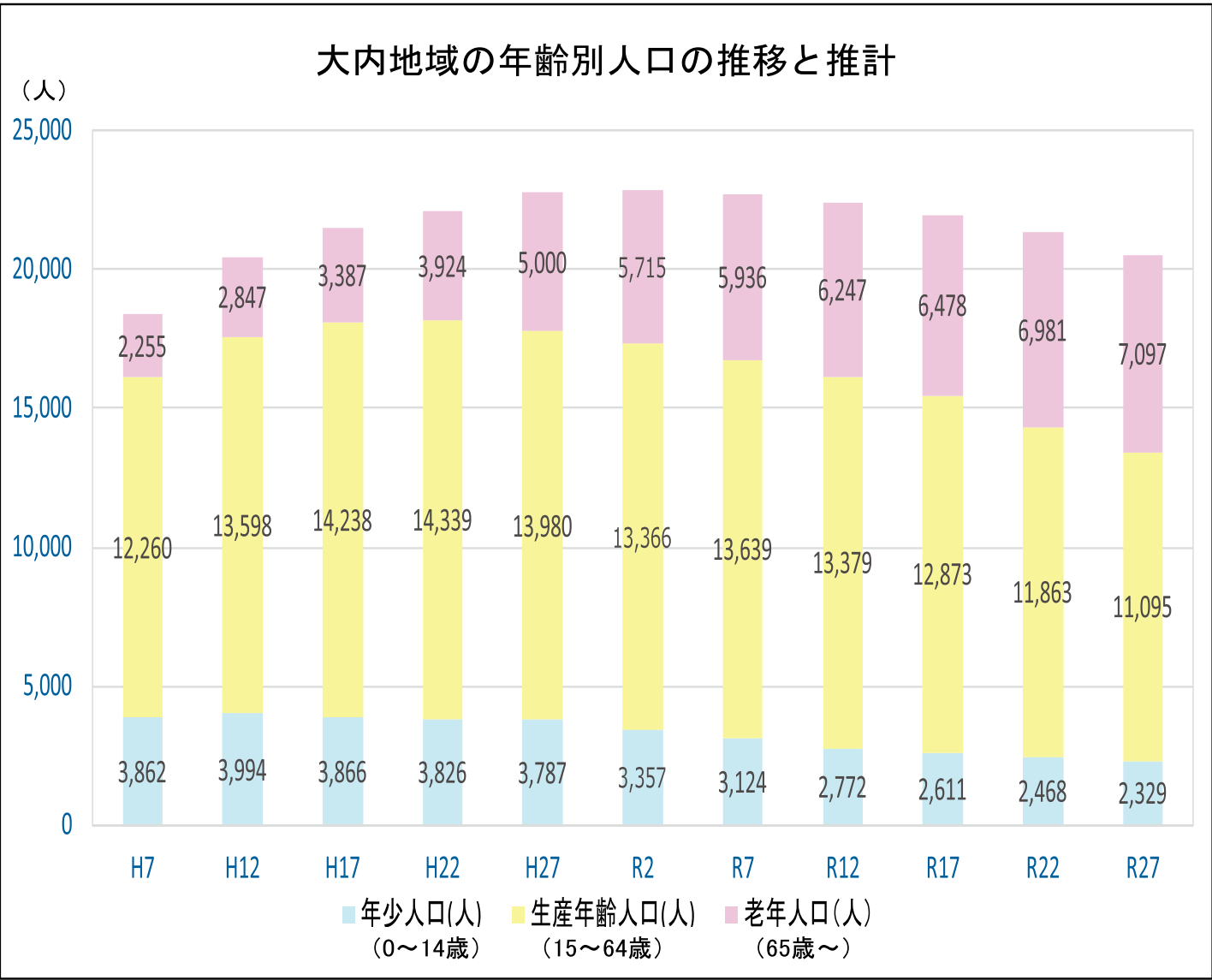


大内小野地区（令和 4 年 8 月撮影）

大内地域の人口の推移（R2まで）と推計（R7以降）

	H7	H12	H17	H22	H27	R2	R7	R12	R17	R22	R27
人口 (人)	18,341	20,439	21,494	22,158	22,878	22,715	22,699	22,399	21,961	21,312	20,521
老年人口 (人) (65歳～)割合(%)	2,255 12.3	2,847 13.9	3,387 15.8	3,924 17.7	5,000 21.9	5,715 25.2	5,936 26.1	6,247 27.9	6,478 29.5	6,981 32.7	7,097 34.6
生産年齢人口 (人) (15～64歳)割合(%)	12,260 66.8	13,598 66.5	14,238 66.2	14,339 64.7	13,980 61.1	13,366 58.8	13,639 60.1	13,379 59.7	12,873 58.6	11,863 55.7	11,095 54.1
年少人口 (人) (0～14歳)割合(%)	3,862 20.9	3,994 19.5	3,866 18.0	3,826 17.3	3,787 16.6	3,357 14.8	3,124 13.8	2,772 12.4	2,611 11.9	2,468 11.6	2,329 11.3

※令和 2 年までの数値は国勢調査で、令和 7 年以降は市の将来人口推計の数値である。





(令和4年8月撮影)